

メディカルスタッフ募集案内



独立行政法人
地域医療機能推進機構

JCHO九州地区

Japan Community Health care Organization

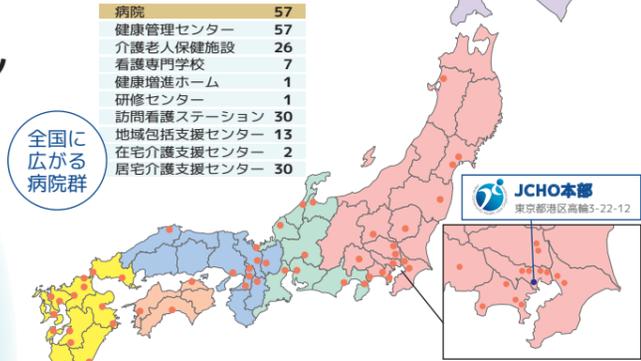
我々全国ネットの JCHO は
地域住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。



JCHO病院ってどこにあるの？

全国に 57 の病院があり、
介護老人保健施設や訪問看護ステーション
などもあります。

伊万里松浦病院は、
2020 年長崎県松浦市に
移転予定



病院	57
健康管理センター	57
介護老人保健施設	26
看護専門学校	7
健康増進ホーム	1
研修センター	1
訪問看護ステーション	30
地域包括支援センター	13
在宅介護支援センター	2
居宅介護支援センター	30

九州・山口地区	
病院	14 病院
介護老人保健施設	7 施設
訪問看護ステーション	7 施設
地域包括支援センター	1 施設
居宅介護支援センター	7 施設

地域医療機能推進機構とは

- 全国に広がる病院群で、ナショナルスケールメリットがあります。
- 病院だけでなく、介護老人保健施設を有し、リハビリテーション体制も充実しており、超高齢社会のニーズに対応するポテンシャルがあります。
- このため、「急性期医療～回復期リハビリ～介護」のシームレスなサービスを提供できるグループとして、時代の要請に応える使命があります。



沿革

全国の社会保険病院等（社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院）は、これまで独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RFO）が（出）全国社会保険協会連合会、（財）厚生年金事業振興団、（財）船員保険会に運営を委託して医療を提供してきました。年金・健康保険福祉施設整理機構法の改正（平成 23 年法律第 73 号）により、平成 26 年 4 月にこれらの病院は RFO が改組されて発足した独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）が直接運営する病院グループとなりました。

診療事業

地域における医療連携の取組

- 1 地域の病院、診療所との患者の紹介、逆紹介を推進
- 2 地域医療連携室・患者相談窓口の強化
- 3 地域連携クリティカルパスの取組の推進
- 4 地域の病院と CT や MRI などの高額医療機器の共同利用を推進
- 5 地域に開かれた開放型病床の運営
- 6 地域の医療従事者及び地域住民に対して研修を定期的に関催

地域医療支援病院	16 病院
地域がん診療連携拠点病院	3 病院
都道府県が指定するがん診療連携推進病院等	15 病院
地域包括支援センター	13 施設
地域リハビリテーション支援センター	4 施設

5 事業 5 疾病

5つの医療で地域のニーズ対応

5 事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）

- 1 救急医療
地域住民と地域医療に貢献するために、救急医療に積極的に取り組み、救急患者の受入数の増加を目指します。
■ 救命救急センター：2 病院
■ 救急告示病院：55 病院
- 2 災害医療
大規模災害が発生した場合には、被災地の実情に応じ、災害発生初期のみならず持続的に支援を行います。
■ 災害拠点病院：13 病院
■ 災害支援病院・協力病院・救護病院：16 病院
- 3 へき地医療
へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力を行います。
■ へき地医療拠点病院：4 病院
■ へき地診療の支援：12 病院
■ へき地診療所の指定管理者：2 病院
- 4 周産期医療
分娩数、ハイリスク分娩数、母体又は新生児搬送の受入数について増加を目指します。
■ 地域周産期母子医療センター：6 病院
■ ハイリスク分娩を取り扱う病院：12 病院
- 5 小児医療
小児救急患者の受入数について増加を目指します。
■ 小児救急医療（病院群輪番制・夜間休日対応）：22 病院

5 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

地域のニーズを踏まえ、各病院においてこれまでの取組の充実を行います。

研究事業

地域医療機能の向上に係る調査研究の推進

健診事業・診療事業・介護事業で得られたデータを統合し、公衆衛生学・社会的なアプローチも含めた調査研究を行い、その成果を地域の課題解決に係るモデル等として情報発信します。

各関連機関と連携した取組（臨床研究及び治験の推進）

JCHO が有する全国ネットワークを活用し、EBM（エビデンスに基づく医療〈Evidence Based Medicine〉）推進のための臨床研究を推進します。また、治験・市販後調査にも取り組みます。

教育研修事業

地域医療・地域包括ケアの要となる人材の育成

地域の医療・介護の従事者に対し、地域連携等に係る研究会の開催や医療従事者の人材育成に係る研修事業を実施します。

地域の医療・介護従事者や地域住民に対する教育活動

JCHO の特色を活かした臨床研修プログラムやキャリアパスにより、JCHO が担う医療等に対する使命感をもった職員の確保・育成に努めます。

地域住民の健康の意識を高めることなどを目的として、地域住民を対象とした公開講座等を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施します。

各階層に応じて、本部または地区事務所による研修を実施



JCHO ではキャリアアップの一環として、採用病院での勤務では得られない、管内他病院での特徴ある医療を経験できるよう異動を行い、視野の広い医療専門職を養成し地域医療を支えます。

※異動は、各職員の事情を考慮します。

待遇について

給与

給与は独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程により支給されます。

※以下の内容は令和2年4月時点のデータです

採用1年目	大卒		短大3卒	短大卒(栄養士)	
	6年制(薬学部)	4年制			
月給	基本給	210,500	188,400	177,400	166,400
	諸手当込※	242,700	220,600	209,600	198,600

※諸手当：条件に応じて下記の手当が支給されます。

通勤手当、住宅手当、扶養手当、時間外手当、広域異動手当、地域手当（都市手当：勤務地により異なる）等

- 上記諸手当込の金額は、九州地区の病院勤務で通勤は車で5kmの距離、家賃61,000円の場合で表示しています。
- 通勤手当、住宅手当は条件により変わります。
- 賞与（年2回）、年度末賞与（経常収支が良好な病院に支給）

休日・祝日等

4週間を通じて8日、他に国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の休日

休暇等

年次休暇（年20日 繰越日数最高20日 初年度は在職期間に応じ定めた日数）、病気休暇、特別休暇（夏季休暇、結婚休暇、出産休暇、配偶者の出産休暇、介護休暇、子の看護休暇、忌引き、災害被災時など）その他：育児休業、育児短時間勤務、介護休業、自己啓発休業 等

福利厚生

- 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 退職金制度
- 院内保育所あり（下関医療センター・徳山中央病院・九州病院・久留米総合病院・佐賀中部病院・諫早総合病院）

ワーク・ライフ・バランス支援

- 「育児短時間勤務」「育児時間」などの各種制度の確保
- 院内保育所の整備
- 常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成及びライフイベント（結婚・配偶者の転勤等）に配慮し、地域医療機能推進機構内の病院へ異動の希望を支援します。

薬剤師

Pharmacist



臨床検査技師

Medical technologist



診療放射線技師

Radiological technologist



リハビリテーション

Rehabilitation



薬剤師

Pharmacist



最適な薬剤治療を遂行するために
日々研鑽し続ける私たち

薬剤部門

医療に携わる者として、「薬学」の学びを続ける私たち。
薬剤師として本当に頼られる現場でその職能を最大限に発揮したい。
思いの全ては薬の向こう側にいる「人」のために…

薬剤師の仕事



調剤業務

抗がん剤調製業務

病棟業務

チーム医療

病院薬剤師としての業務

幅広い調剤業務の実践

内服薬、外用薬の調剤・監査業務、注射薬の調剤、抗がん剤調剤業務、医薬品情報の院内周知を行う業務も実施します。

病棟業務の実践

処方箋に基づき服薬指導を実施するだけでなく、患者さんのカルテ情報から治療方針や検査結果を確認し、医師へ処方提案を行います。病棟にて医師や看護師などと、気軽に質問や情報交換を行い、薬物治療への理解を深めることができます。

薬剤師外来・入退院センター業務の実践

外来患者さんに対して抗がん剤や喘息吸入薬、麻薬の説明や指導を行っている病院もあります。また、手術前の患者さんの抗凝固薬の確認を行い、入院後の円滑な手術実施への対応を行っています。

チーム医療の実践

病院内では、がんサポートチーム、感染制御チーム、栄養サポートチーム、心臓リハビリチーム、緩和ケアチームなどに参画し、多職種でのチーム医療活動を実践できます。

新たなチーム医療の提案と臨床の場で、薬剤師としてのスキルアップを目指せます

医療を取り巻く環境が大きく変化中、チーム医療の一員である病院薬剤師の役割と職能は多様化・拡大の一途をたっています。JCHO 薬剤師は地域医療のニーズにも応えるため、地域の薬剤師会や医師会をはじめ多職種と連携して、地域医療における薬物療法適正化に向けた多くの取り組みを行っており、テレビや新聞にも取り上げられるなど全国的にも注目されています。また、組織において人材育成が最も重要と考え、JCHO ネットワークとスケールメリットを活用して九州地区 14 病院の薬剤師が知識情報を共有し、個々の能力を最大限に生かした働き易くやりがいのある職場づくりを目指しています。

JCHO 九州地区病院の施設認定および認定薬剤師 (2020.1 現在)

《施設認定》

- ・日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士実地訓練施設

《認定薬剤師》(JCHO 九州地区病院薬剤師の取得認定より一部抜粋)

- ・日本医療薬学会 がん指導薬剤師、認定指導薬剤師、認定薬剤師、がん専門薬剤師
- ・日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師、感染制御専門薬剤師、生涯研修認定薬剤師
- ・日本臨床腫瘍学会 外来がん治療認定薬剤師
- ・日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師
- ・日本臨床薬理学会 認定 CRC
- ・日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師
- ・日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師
- ・日本アンチドーピング機構 公認スポーツファーマシスト
- ・日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション上級指導士、指導士
- ・日本薬剤師研修センター 認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、小児薬物療法認定薬剤師
- ・日本薬剤師会 生涯学習支援システム JPALS レベル 6
- ・日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師
- ・日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士
- ・日本褥瘡学会 日本褥瘡学会認定師
- ・日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療法指導士
- ・日本くすりと糖尿病学会 糖尿病薬物療法認定薬剤師
- ・日本アロマ環境協会 AEAJ 認定アロマセラピーアドバイザー

研究・学会発表

《論文掲載》

乳癌患者へのアナストロゾール療法における服薬アドヒアランス評価；癌と化学療法,45(6),965,2018。(九州病院)
薬剤師の褥瘡対策チーム介入による褥瘡発生率および治癒期間の変化；日本褥瘡学会誌,19(4),461,2017。(熊本総合病院)

《学会発表》

抗菌薬長期投与患者における VRE スクリーニングの評価；第 33 回日本環境感染学会総会・学術大会(九州病院)
病棟薬剤業務による多剤併用対策～減薬へのアプローチ；第 4 回 JCHO 地域医療総合医学会(人吉医療センター)
介護老人保健施設におけるポリファーマシーの実態と転倒・転落事故の関連；第 28 回日本医療薬学会年会(下関医療センター)

先輩職員からの声

被験者さんの不安や負担を軽減できるよう心がけていきたい



有吉 美幸
九州病院
2013 年入職

私は治験支援センターに所属し、薬剤師治験コーディネーターとして治験スケジュールや薬剤の説明を丁寧に行い、治験に参加して頂く被験者さんの不安や負担を軽減できるように心がけています。また、治験は様々な職種の協力によって成り立つため、院内の治験をスムーズに行えるよう部署間の調整を行っています。



他職種と協力し、患者様へより良い医療を提供できるように努めていきたい



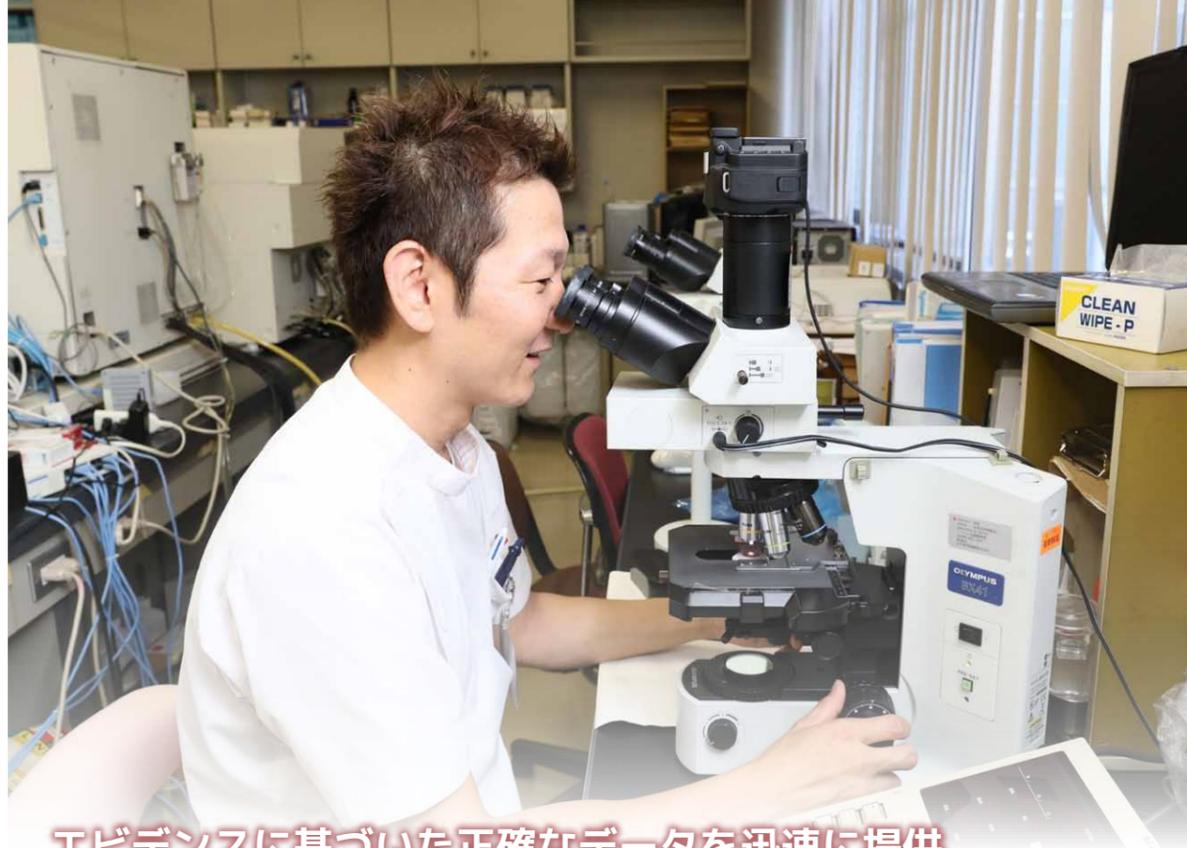
木村 麻理恵
人吉医療センター
2016 年入職

JCHO 人吉医療センターは、H30 年に新人 5 人が入職したことで若い薬剤師が増え活気あふれる職場です。入職後は調剤業務からはじめ、夏頃には希望する病棟へ配属されます。私は、感染症に興味があったので、整形外科病棟で感染症治療の知識や経験を積んできました。当院は他職種とのコミュニケーションが取りやすく、治療を検討する際に医師と協議することも多いです。そのため議論できるだけの知識の習得には苦労しますが、その治療で患者様が軽快する姿を見ると喜びややりがいを感じます。今年からは外科・消化器病棟に配属となり、これまでの経験を活かしつつ新たに知識を身につけながら他職種と協力し患者様へより良い医療を提供できるように努めていきたいです。



臨床検査技師

Medical
technologist



エビデンスに基づいた正確なデータを迅速に提供
患者様に信頼される検査技師を目指します

臨床検査部門

九州地区では 14 病院、約 260 名の臨床検査技師がそれぞれの病院で地域医療、地域包括ケア推進のため、地域に根差した臨床検査に取り組んでいます。

また研修会などを通じ、検体検査、生体検査、病理検査、細菌検査、それぞれの領域のスペシャリストを目指すべく、優秀な医療技術者の育成にも力を注いでいます。

臨床検査技師の仕事



分析装置



微生物検査



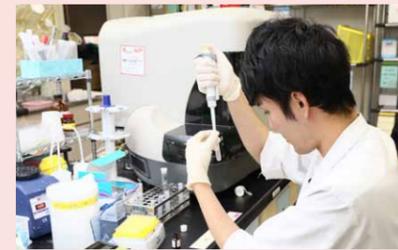
血液検査



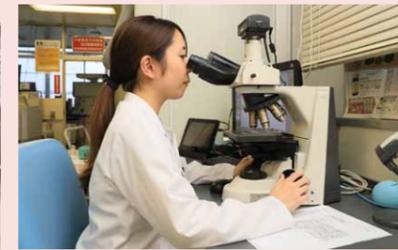
超音波検査



心電図検査



フローサイトメトリー検査



病理検査



肺活量検査

『より正確により迅速に』を基本に日々進歩する医療に向けデータ発信をします

日々進歩する医療とともに検査技術は格段の進歩を遂げました。診断、予後および治療についての意思決定はしばしば臨床検査のデータと解釈に基づいて行われます。このような臨床検査データを「より正確により迅速に」を基本に JCHO の臨床検査部門では情報の発信に努めています。また、臨床検査技師の業務は検査室内だけでなく、栄養サポートチーム (NST)、感染制御チーム (ICT)、糖尿病療養治療など他部門との連携を密に医療の質の向上を目指しています。

JCHO 九州地区病院の資格・認定 (2020.1 現在)

《資格・認定》

- ・医療情報技師
- ・栄養サポートチーム専門療法士
- ・感染制御認定臨床微生物検査技師
- ・カンパセーションマップファシリテータ
- ・緊急臨床検査士・毒物劇物取扱責任者
- ・健康食品管理士
- ・睡眠医療認定検査技師
- ・心血管インターベンション技師
- ・心臓リハビリテーション指導士
- ・超音波検査士 (消化器、循環器、泌尿器、体表臓器、血管、健診領域)
- ・糖尿病療養指導士
- ・二級臨床検査士 (循環生理学、血液学、微生物学)
- ・認定一般検査技師
- ・認定救急検査技師
- ・認定血液検査技師
- ・認定心電検査技師
- ・日本臨床神経生理学会認定技術師
- ・認定輸血検査技師
- ・認定臨床微生物検査技師
- ・認定臨床化学・免疫化学制度保証管理検査技師
- ・ピンクリボンアドバイザー
- ・細胞検査士 (国際細胞検査士)
- ・NST 専門療法士

先輩職員からの声

患者さんのために 信頼される臨床検査技師を目指して



前田 祐実
下関医療センター
2017 年入職



JCHO 下関医療センターは病院・健康管理センター・介護老人保健施設・訪問看護ステーションを併設し、健診から診療・治療まで充実した地域医療を提供しています。私は臨床検査部の検体検査に所属しており、生化学検査や輸血検査など、様々な分野の検査を行っています。急性期疾患が中心のため、臨床的な知識が幅広く必要であり日々勉強の毎日です。まだまだ知識や経験が浅いですが、たくさんのベテラン技師や他職種の方々と協力しながら、下関の地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思います。

笑顔あふれる 臨床検査技師を目指して



水口 恵理
諫早総合病院
2017 年入職

JCHO 諫早総合病院は、急性期病院として緊急・重症の患者様に対して検査や治療などの医療を提供する病院です。また、診療科も多いため、様々な症例を経験することができます。現在は生理機能検査に所属しており、腹部エコー検査・頸部エコー検査・心電図検査・肺機能検査・脳波検査の検査業務を行っています。生理機能検査は、検査の種類が多く大変ですが、患者様と直接接し、会話をしながら検査できるので充実しています。また、研修会や学会にも積極的に参加し、認定資格取得のために勉強をしています。これからも患者様の検査や自己研鑽のために頑張っています。



診療放射線技師

Radiological
technologist



最先端の「技術力」を最新の装置で提供

診療放射線部門

私たち診療放射線技師は、メディカルスタッフの一員として、診療に最適な医用画像を提供するために、日々研鑽して最新の医療技術を習得しています。JCHOグループではそのための、新人教育はもちろんのこと、キャリアアップに対しても支援しています。

また放射線診断装置や、放射線治療装置の管理業務を行う事で、放射線被ばく低減と最高の画質で、安心して安全な最良の医療を提供します！

診療放射線技師の仕事



最新鋭機器を用いた業務



放射線治療



小線源治療

医用画像に最大の情報量を与え医療被ばくの最適化に力を注ぎます

放射線部門は診断部門、治療部門を含め常に高い精度が求められています。豊富な知識と技術で要望に応えるだけでなく、患者さんとのコミュニケーションや多職種連携を通じて医療人としての質の向上を常に心掛けています。今後は、さらに医療被ばくの最適化に取り組み、JCHO病院のどこでも安心して放射線医療を受けていただける病院になるよう努力していきます。

JCHO 九州地区病院の主な資格・認定 (2020.1 現在)

《資格・認定》

- 放射線機器管理士
- 放射線管理士
- 医療画像情報精度管理士
- 臨床実習指導教員
- 放射線治療専門放射線技師
- 放射線治療品質管理士
- 核医学専門技師
- X線 CT 認定技師
- 救急撮影認定技師
- 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
- 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- 胃がん検診専門技師
- 肺がん CT 検診認定技師
- 磁気共鳴専門技術者

JCHO 九州地区の診療放射線技師は、安全かつ良質な医療を提供するために、質の向上と自己研鑽に励み様々な資格・認定取得にチャレンジしています。

先輩職員からの声

患者様、スタッフからも信頼される診療放射線技師を目指して



下川 彩香
熊本総合病院
2018年入職

JCHO 熊本総合病院放射線技術部では、一般撮影、CT、MRI、血管造影、核医学、放射線治療、ESWL など様々なモダリティを揃え、各部門に最新最上級の装置を導入しています。当院の理念である「自分自身がかりたい医療」を実践できるよう、診療放射線技師として常に質の高い検査・治療を心がけ、そのために院内外の勉強会に積極的に参加し、最新の技術を習得しています。3年目の私は知識や技術がまだまだ未熟ですが、先輩たちの仕事を



多くのモダリティで活躍できる診療放射線技師を目指して



児玉 奈将
宮崎江南病院
2016年入職

JCHO 宮崎江南病院では、一般撮影、CT、MRI、RI、血管造影など、様々な症例に合わせた検査を行っています。また、健康管理センターが併設されているため、胃エックス線検査、マンモグラフィ、乳腺エコーなどの健診業務も行っており、多くのモダリティに従事することができます。現在、MRI 検査に携わっており、当院には、形成外科があり特殊な症例が多いため、貴重な経験をすることが



リハビリテーション

Rehabilitation



早期離床の急性期、社会・家庭復帰への回復期、
自宅での充実した生活活動・そして再発予防！

リハビリテーション部門

JCHO では多くの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が在籍し、それぞれの能力を発揮しています。さまざまな疾患や障害のリハビリテーションに携わり、チーム医療を展開しながら、急性期・回復期・生活期まで関わること特徴です。

優秀な医療技術者の育成にも力を入れており、定期的な勉強会や研修会を通じてキャリアアップを支援します。

リハビリテーションの仕事



理学療法



作業療法



言語療法



心大血管疾患リハ



通所リハ



ロボットリハ

理学療法士 Physical Therapist

地域医療のニーズに応えるリハビリを目指して楽しく活躍しています

JCHO 九州地区 14 病院では、急性期、回復期、介護老人保健施設、訪問リハ、地域包括と多彩な場面で理学療法士として働くことが可能です。信頼できる先輩が指導、育成に携わりスキルアップや進むべき道と一緒に考えてくれる JCHO の職場で働いてみませんか。

作業療法士 Occupational Therapist

患者様の日常生活動作のスペシャリストとして心と身体をサポートしています

JCHO 九州地区 14 病院では、作業療法士が病院、介護老人保健施設、デイケア、訪問リハ、地域包括の各分野で活躍しています。地域医療を支えるリハビリテーションでの専門性の向上、スキルを獲得し、患者さん、利用者さんのアクティビティ向上を目的とした作業療法士として、JCHO の一員になりませんか。

言語聴覚士 Speech Therapist

言語療法から摂食嚥下まで多くの専門性を活かせる場面で必要とされます

近年、言語聴覚士はチーム医療（NST）での摂食嚥下が注目されています。従来の言語、聴覚療法はもちろん、その専門性を活かせる職場が皆さんを待っています。地域医療の中で地域の人達のニーズに応えるために、JCHO の一員になって仕事を楽しまませんか。

JCHO 九州地区病院の資格・認定ほか (2020.1 現在)

《資格・認定》

- ・日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士
- ・心臓リハビリテーション指導士
- ・呼吸療法認定士
- ・糖尿病療養指導士
- ・栄養サポートチーム専門療法士
- ・認定理学療法士
- ・福祉住環境コーディネーター（2 級）
- ・がん患者リハビリテーション研修修了
- ・介護支援専門員

《施設基準》

- ・脳血管疾患リハビリテーション料（I）・（II）
- ・廃用症候群リハビリテーション料（I）・（II）
- ・運動器リハビリテーション料（I）
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（I）
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・呼吸器リハビリテーション料（I）

先輩職員からの声

頼られる理学療法士になるために



前田 悠介
九州病院
2017 年入職

JCHO 九州病院では多くの診療科があるため様々な症例に携わることができ、病態把握や急性期リハビリテーション、リスク管理等を学ぶことができます。現在、私は運動器疾患や脳血管疾患患者を主に担当させて頂いておりますが次年度からは循環器・呼吸器疾患患者を主に担当させて頂くことになっております。高齢化が進み、様々な疾患を併存している患者様も多いので、幅広い分野に対応できる理学療法士になりたいと考えております。また、様々な資格を持つ先輩が多く、的確なアドバイスを頂くことができます。このような環境で勤務できることに喜びを感じ、日々精進しております。



患者様の生活に寄り添った作業療法士を目指して



松本 康平
天草中央総合病院
2016 年入職

JCHO 天草中央総合病院では急性期から維持期、緩和ケアまで患者様に沿った医療、リハビリテーションを提供しています。また認知症やロコモ予防の現地指導にも取り組んでいます。そのため院内研修会も多く、幅広い分野の勉強を行うことが出来ます。今年から病棟担当制へと移行したため、病棟の特色を活かしながら日々の業務や他職種との連携に動んでいます。まだまだ経験や知識も足りないので、様々な経験を積みながら患者様の生活に寄り添ったリハビリテーションを提供していきたいように、日々努力していきたいと思っております。



栄養士

Nutritionist



患者様・地域の皆様の健康を
「食事・栄養」で支援します！

栄養部門

栄養管理室の主な業務は、患者様への「食事の提供」と「栄養管理」です。病院食は、医療の重要な一部であり患者様の症状や栄養状態に合わせた食事を提供することにより、治癒あるいは疾病の早期回復や合併症の予防を図ります。同時に入院中の患者様にとって食事は楽しみの一つでもあるため、安心して安全な美味しい食事の提供を基本とします。

栄養管理は、各疾患に応じて患者様1人ひとりに栄養の状態を評価し、医師、看護師など多職種と共同して栄養アセスメントを行い、栄養管理計画書を作成し栄養ケアを行います。疾患を持った患者様自らが適切な食生活が送れるようまた、摂食・嚥下機能に応じた食事・栄養補給の栄養指導を実施し、患者様個々の栄養管理を行います。

栄養士の仕事



出産後の祝い膳



個人栄養食事指導



集団栄養食事指導
糖尿病教室



栄養サポートチーム



病棟担当栄養士



ベッドサイド訪問

栄養部門のチーム医療と役割

栄養管理室では多職種との連携が欠かせないチーム医療の分野が数多く作られ、その多くのチーム医療の分野に管理栄養士が必ずと言っていいほど加わり必須となりつつあります。我々 JCHO グループは幅広く活躍できる人材を育成しスキルアップを図れるよう取り組んでいます。ともに歩み地域医療に少しでも貢献しましょう。

JCHO 九州地区病院の主な資格・認定 (2020.4 現在)

《資格・認定》

- ・病態栄養専門（認定）管理栄養士
- ・がん病態栄養専門管理栄養士
- ・糖尿病病態栄養専門管理栄養士
- ・腎臓病病態栄養専門管理栄養士
- ・糖尿病療養指導士
- ・地域腸尿病療養指導士
- ・NST 専門療法士
- ・NST コーディネーター
- ・臨床栄養士
- ・在宅訪問管理栄養士
- ・TNTD
- ・健康運動指導士
- ・特定健診指導認定
- ・人間ドック管理栄養士
- ・生活習慣改善指導士
- ・産業栄養指導員
- ・介護支援専門員
- ・摂食嚥下リハビリテーション認定士
- ・メンタルヘルスマネジメント
- ・経営栄養士

先輩職員からの声

患者様に寄り添う 管理栄養士を目指して



長友 里沙子
宮崎江南病院
2019年入職

JCHO 宮崎江南病院の栄養管理室は、給食管理は直営で、NST、栄養指導（入院外来栄養指導、特定保健指導、訪問栄養指導）などを行っています。病院食は常食をはじめ12種類の治療食を提供しています。私の日々の業務は献立の見直しや食材の発注、調理別指示書の作成など主に給食管理です。食事は、栄養状態の維持・改善はもちろんのこと楽しみでもあります。そのため栄養バランスや味づけ、見栄えなど配慮し提供を行っています。そのなかでも患者様の美味しかったという声はとても嬉しく、やりがいを感じます。今後の目標は、食や臨床に関する知識を幅広く身につけ、様々なことにチャレンジしていきたいです。



患者様からも医療者からも 必要とされる管理栄養士を目指して



北岡 志織
人吉医療センター
2013年入職

JCHO 人吉医療センターは2014年より各病棟に管理栄養士を配置しています。親睦を深めるイベントも多く、職種や部署を超えて気軽に相談ができるためお互いに顔の見える関係でよりよい栄養管理に取り組んでいます。私は入職後外科病棟に配属されました。消化器癌の周術期は栄養障害をきたしやすい、栄養指導だけでなく病態を踏まえた経腸栄養剤・栄養補助食品の変更の提案など、きめ細かな栄養管理が必要で幅広い知識が求められるため日々勉強の毎日でした。2016年からはNST 専任管理栄養士として活動しています。栄養管理室は同世代が多く明るい雰囲気でも多く充実した毎日を送っています。患者様からも医療者からも必要とされる管理栄養士を目指し、これからも日々精進していきたいと思います。



九州・山口地区 病院紹介

JCHO 九州・山口地区には、様々な医療機能を持つ
14 病院があります



下関医療センター

<https://shimonoseki.jcho.go.jp/>



〒 750-0061
山口県下関市上新地町三丁目 3 番 8 号
Tel. 083-231-5811

(アクセス)
■ JR 下関駅より路線バスで 5 分

許可病床数	315 床
標榜診療科	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科、糖尿病内科
各部門 常勤職員数	薬剤師 14 名、診療放射線技師 17 名、臨床検査技師 21 名、理学療法士 9 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 2 名、栄養士 6 名
病院の特色	下関の古い町並みが残る界隈に当院は位置しています。すぐ近くには高杉晋作が最期を迎えた地が史跡として残っており、病院周辺を散策すれば、幕末から明治にかけて重要な地であった下関の往時が偲ばれます。当院は 315 床、25 診療科を擁する急性期病院として、急性疾患や救急疾患を中心に専門性の高い医療を提供することに努めています。加えて、併設の健康管理センター、介護老人保健施設、訪問介護ステーションを通じて、地域住民の健康維持や介護ケアにも力を注いでいます。
附属施設等	■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
その他	宿舎：あり 保育所：あり

徳山中央病院

<https://tokuyama.jcho.go.jp/>



〒 745-8522
山口県周南市孝田町 1-1
Tel. 0834-28-4411

(アクセス)
■ JR 山陽本線「徳山駅」下車、
タクシーで 10 分

許可病床数	519 床
標榜診療科	内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、精神科、緩和ケア内科、ペインクリニック内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、小児外科、救急科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、リウマチ科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科
各部門 常勤職員数	薬剤師 31 名、診療放射線技師 32 名、臨床検査技師 40 名、理学療法士 21 名、作業療法士 14 名、言語聴覚士 4 名、栄養士 10 名
病院の特色	周南市・下松市・光市の 3 市で構成される人口約 26 万人を擁する診療圏の基幹病院です。ダ・ヴィンチ・サージカルシステム、ノバリス（高精度放射線治療装置）、PET-CT、320 列 CT、ハイブリッド手術室等の最新鋭の医療機器設備を装備し、高度な医療の提供を目指すとともに救命救急センターや屋上ヘリポートを有し地域の急性期医療を担っています。三次救急病院として 24 時間の受入体制を整備し、地域の方々からは「とくちょう」として親しまれています。地域がん診療連携拠点病院、小児救急医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、地域医療支援病院等の指定を受けています。
附属施設等	■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■健康管理センター
その他	宿舎：なし 保育所：あり

九州病院

<https://kyusyu.jcho.go.jp/>



〒 806-8501
福岡県北九州市八幡西区岸の浦 1 丁目
8 番 1 号
Tel. 093-641-5111

(アクセス)
■ JR 黒崎駅よりバスで 7 分

許可病床数	575 床
標榜診療科	整形外科、外科、呼吸器科、消化器科、胃腸外科、肝臓外科、胆のう外科、脾臓外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、肝臓内科、胆のう内科、膵臓内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、内分泌内科、循環器内科、老年内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、小児科、循環器小児科、新生児小児科、小児外科、精神科、脳神経内科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、救急科、形成外科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、緩和ケア外科
各部門 常勤職員数	薬剤師 33 名、診療放射線技師 35 名、臨床検査技師 48 名、理学療法士 22 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 3 名、栄養士 8 名
病院の特色	1955 年に九州厚生年金病院として設立。北九州医療圏の基幹病院として地域の急性期医療を担っています。地域がん診療連携拠点病院としてがん診療、緩和ケア、福岡県地域周産期母子医療センターとして周産期医療、小児医療に取り組んでいます。また、災害拠点病院、災害派遣 (DMAT)、救急告示病院として年間約 6,400 人の救急搬送患者の受け入れ、ヘリポートの設置など、災害救急医療体制の充実にも力を注いでいます。
附属施設等	■健診部門
その他	宿舎：なし 保育所：あり

久留米総合病院

<https://kurume.jcho.go.jp/>



〒 830-0013
福岡県久留米市榑原町 21
Tel. 0942-33-1211

(アクセス)
■ JR 久留米駅よりバスで 5 分

許可病床数	175 床
標榜診療科	内科、腎臓内科 (人工透析)、呼吸器・感染症内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、循環器内科、麻酔科、ペインクリニック内科、外科、形成外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、精神科、救急科
各部門 常勤職員数	薬剤師 10 名、診療放射線技師 16 名、臨床検査技師 16 名、理学療法士 8 名、作業療法士 7 名、言語聴覚士 0 名、栄養士 5 名
病院の特色	当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健 (健康管理センター)、医療 (病院)、介護福祉 (介護老人保健施設) が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実にも尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。
附属施設等	■介護老人保健施設 ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
その他	宿舎：あり 保育所：あり

福岡ゆたか中央病院

<https://fukuoka.jcho.go.jp/>



〒 822-0001
福岡県直方市大字感田 523-5
Tel. 0949-26-2311

(アクセス)
■ JR 直方駅よりタクシーで 10 分

許可病床数	162 床
標榜診療科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、肛門科、整形外科、リウマチ科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
各部門 常勤職員数	薬剤師 6 名、診療放射線技師 9 名、臨床検査技師 9 名、理学療法士 9 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 1 名、栄養士 3 名
病院の特色	当院は、病床数 162 床の急性期病院として、「地域包括ケアの医療の要」の機能を果たしていくことを第一の使命とし、地域の皆さまより深い信頼を寄せられ、地域の中核病院として活躍しています。「職員満足なくして患者満足なし」という方針のもと、働きがいのある病院づくりで、地域の方々のみならず、職員の皆さまからも「選ばれる病院」でありたいと、人材育成や職場環境づくりに力を注いでいます。
附属施設等	■健康管理センター
その他	宿舎：あり 保育所：なし

佐賀中部病院

<https://saga.jcho.go.jp/>



〒 849-8522
佐賀県佐賀市兵庫南 3-8-1
Tel. 0952-28-5311

(アクセス)
■ JR 佐賀駅よりバスで 8 分

許可病床数	160 床
標榜診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科、神経内科、放射線科、病理診断科
各部門 常勤職員数	薬剤師 6 名、診療放射線技師 8 名、臨床検査技師 14 名、理学療法士 15 名、作業療法士 9 名、言語聴覚士 1 名、栄養士 4 名
病院の特色	昭和 21 年に設立され、平成 8 年に現在地に移転しました。病院に健康管理センター、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設を併設し、疾病の早期発見、治療、機能回復まで一貫した医療体制を整え、地域医療への貢献を目指しています。
附属施設等	■介護老人保健施設 ■居宅介護支援センター ■地域包括支援センター ■健康管理センター
その他	宿舎：あり 保育所：あり

伊万里松浦病院

<https://imari.jcho.go.jp/>



〒 849-4261
福岡県伊万里市山代町立岩 417
Tel. 0955-28-3100

(アクセス)
■ 松浦鉄道西九州線
浦ノ崎駅より徒歩で 3 分

許可病床数	112 床
標榜診療科	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、肛門科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科
各部門 常勤職員数	薬剤師 2 名、診療放射線技師 6 名、臨床検査技師 5 名、理学療法士 5 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 1 名、栄養士 3 名
病院の特色	地域社会に根付いた医療を半世紀にわたり行っています。早期発見、早期治療を目指して佐賀県内一円及び長崎県北部の事業所の生活習慣病健診、事業所健診に力を入れています。JCHO グループ病院として、地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域の実情に応じた運営に努めています。
附属施設等	■訪問看護ステーション ■健康管理センター
その他	宿舎：なし 保育所：なし

諫早総合病院

<https://isahaya.jcho.go.jp/>



〒854-8501
長崎県諫早市永昌東町 24-1
Tel. 0957-22-1380

(アクセス)
■ JR 諫早駅より徒歩で 8 分

許可病床数	323 床
標榜診療科	内科、消化器内科、小児科、整形外科、産婦人科、放射線科、脳神経内科、循環器内科、外科、皮膚科、眼科、麻酔科、呼吸器内科、リウマチ科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、腫瘍内科、脳神経外科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器外科、放射線治療科
各部門 常勤職員数	薬剤師 17 名、診療放射線技師 20 名、臨床検査技師 25 名、理学療法士 7 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 3 名、栄養士 6 名
病院の特色	当院は急性期病院として、諫早・島原半島の人口約 20 万人の医療圏において地域のニーズに合った医療を提供しています。病床数 323 床、診療科 28、健康管理センター、透析センター、内視鏡センター、がん治療センター、脳疾患センターを併設しており、地域医療支援病院・災害拠点病院・救急告示病院・認知症疾患医療センター・がん診療連携推進病院等の指定を受け、地域に密着した安心・安全な医療の提供に努めています。
附属施設等	■健康管理センター
その他	宿舎：なし 保育所：あり

熊本総合病院

<https://kumamoto.jcho.go.jp/>



〒866-8660
熊本県八代市通町 10-10
Tel. 0965-32-7111

(アクセス)
■ JR 八代駅よりバスで 10 分
タクシーで 5 分

許可病床数	400 床
標榜診療科	内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、脳神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科
各部門 常勤職員数	薬剤師 19 名、診療放射線技師 22 名、臨床検査技師 24 名、理学療法士 11 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 3 名、栄養士 7 名
病院の特色	当院は、一昨年にダヴィンチを導入し「機能溢れる高度急性期病院」であるのみならず、「八代のランドマークとなって新しい美しい街創りに貢献する病院」です。「医療と共に公に一肌脱く」、「職員自身がかりたい病院にする」をモットーに、職員全員がプロとして質の高いチーム医療ならびに満足度が高い接遇の提供に努めています。教育では、各個人の持つ多様なキャリアデザインのニーズに対応した人材育成を行っています。職員にとって働きがい・魅力のある病院です。
附属施設等	■附属クリニック ■健康管理センター
その他	宿舎：なし 保育所：なし

人吉医療センター

<https://hitoyoshi.jcho.go.jp/>



〒868-8555
熊本県人吉市老神町 35 番地
Tel. 0966-22-2191

(アクセス)
■ JR 人吉駅より徒歩で 13 分

許可病床数	252 床
標榜診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、血液内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、神経内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科
各部門 常勤職員数	薬剤師 17 名、診療放射線技師 20 名、臨床検査技師 25 名、理学療法士 12 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 2 名、栄養士 8 名
病院の特色	全人医療 "140 年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します" を当院の理念とし、がん・救急・予防医療の 3 本柱を中心に質の高い医療が提供できるよう日々研鑽に努めております。救急医療では、二次救急医療機関として受け入れを行っていますが、近年では宮崎県や鹿児島県北地域からの救急搬送が増加しています。また、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院の認定を受け、早期発見・早期治療から緩和ケア、在宅ケアのトータルケアができる地域完結型医療の提供を目指し、医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、診療看護師、その他医療専門スタッフが協働し"チーム医療"を展開しています。
附属施設等	■訪問看護ステーション ■健康管理センター
その他	宿舎：あり 保育所：なし

天草中央総合病院

<https://amakusa.jcho.go.jp/>



〒863-0033
熊本県天草市東町 101
Tel. 0969-22-0011

(アクセス)
■ 熊本市内からバス
熊本交通センター～本渡バスセンター 約 2 時間 20 分
天草エアライン
熊本空港～天草空港 約 20 分
(天草空港よりタクシーで約 15 分)

許可病床数	155 床
標榜診療科	内科、循環器内科、外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、放射線科、皮膚科、小児科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科
各部門 常勤職員数	薬剤師 5 名、診療放射線技師 8 名、臨床検査技師 8 名、理学療法士 12 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 1 名、栄養士 4 名
病院の特色	● 専門医療の充実と他診療科との連携 ● 救急医療の充実 ● がん診療、治療の充実 ● 画像診断 ● 熊本県産科中核病院・熊本県地域新生児中核病院 ● 健診業務の充実 ● 看護体制（認定看護師による看護の質向上） ● 高齢者の疾患対策 ● 地域医療連携の強化 ● 附属介護老人保健施設との連携による医療介護
附属施設等	■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
その他	宿舎：なし 保育所：なし

南海医療センター

<https://nankai.jcho.go.jp/>



〒876-0857
大分県佐伯市常盤西町 7-8
Tel. 0972-22-0547

(アクセス)
■ JR 佐伯駅より徒歩で 10 分

許可病床数	195 床
標榜診療科	内科、循環器内科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、耳鼻咽喉科、心臓血管外科、皮膚科、麻酔科、形成外科、リハビリテーション科
各部門 常勤職員数	薬剤師 8 名、診療放射線技師 10 名、臨床検査技師 13 名、理学療法士 17 名、作業療法士 8 名、言語聴覚士 2 名、栄養士 4 名
病院の特色	大分県南の中核病院として急性期医療を担っています。(消化器外科等の手術、透析、心臓カテーテル治療、消化器・血液内科等の化学療法等) 令和 2 年 1 月に新病院がオープンし、これまで以上に地域に根差した質の高い医療を提供することを方針としています。(大分県南の災害拠点病院、DMAT 指定病院)
附属施設等	■介護老人保健施設 ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
その他	宿舎：あり 保育所：なし

湯布院病院

<https://yufuin.jcho.go.jp/>



〒879-5193
大分県由布市湯布院町川南 252
Tel. 0977-84-3171

(アクセス)
■ JR 由布院駅より徒歩で 20 分
タクシーで 3 分

許可病床数	199 床
標榜診療科	内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科
各部門 常勤職員数	薬剤師 4 名、診療放射線技師 4 名、臨床検査技師 4 名、理学療法士 39 名、作業療法士 19 名、言語聴覚士 11 名、栄養士 4 名
病院の特色	温泉観光地「湯布院」という豊かな自然環境のなか、リハビリテーションを核とした地域医療を推進しています。大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）として大分県から委託され、6 圏 11 広域支援センターおよび 19 の職能団体と協力して地域リハビリテーションの啓蒙・普及に努めています。また、県リハ支援センターが事務局となっている大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）と大分県で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定書」を締結して、災害時における被災者の医療救護の協力をおこなっています。由布地域包括ケア推進協議会（実施主体：湯布院病院、地区医師会、中部保健所）では、由布市から委託されて主体的・実践的に協働しています。
附属施設等	■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健診部門
その他	宿舎：あり 保育所：なし

宮崎江南病院

<https://miyazaki.jcho.go.jp/>



〒880-8585
宮崎県宮崎市大坪西 1-2-1
Tel. 0985-51-7575

(アクセス)
■ JR 南宮崎駅よりバスで 10 分
タクシーで 5 分

許可病床数	269 床
標榜診療科	内科、循環器科、外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科
各部門 常勤職員数	薬剤師 9 名、診療放射線技師 12 名、臨床検査技師 15 名、理学療法士 31 名、作業療法士 20 名、言語聴覚士 3 名、栄養士 7 名
病院の特色	● 地域医療支援病院である ● 宮崎県内唯一の形成外科認定施設である ● 急性期から慢性期に至る患者を対象としている ● 宮崎 NST 研究会の幹事病院で、NST 教育認定施設である ● 訪問看護ステーションを併設し、在宅緩和医療を支援している
附属施設等	■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
その他	宿舎：なし 保育所：なし



Japan Community Health care Organization



独立行政法人

地域医療機能推進機構

九州地区事務所

〒866-0862

熊本県八代市松江城町2-26

熊本総合病院健康管理センター棟4階

TEL 0965-88-6211

E-mail: jinji@chikukyusyu.jcho.go.jp

